

サークル運動を地域で 拡げる運動を展開

長岡京支部
中川 美智子さん

「仲間をやし」2023春の行動は、新しい試みとして、5月の1カ月間「サークル見学会」を計画しています。5000枚のチラシを京都新聞に折り込む大量宣伝と、各サークルの発表を兼ねた見学会です。それぞれのサークルで(案)が練られ活気が出てきました。



4月10日から、折り紙、押絵、手作りの3つのサークルの作品を長机2本分の展示とイメージアップチラシを置かせてもらえました。

多くの高齢者をはじめ市民の方々には、年金者組合の活動を知ってもらうには、やはり大量宣伝と工夫が必要で、みなで知恵を出し合えば方法が見つかることを確信しています。結果はついでにのちほど...

女性部アンケートに声寄せ た方に加入してもらおう

女性部
栗倉 恵子さん

女性部アンケートの結果を使ってこんな会話をしています。
●「女性のくらし実態アンケート」データ版 見ていただきませんか。年金が月10万円以下の方が46%と

6年前に比べて10ポイント増。ジワジワ削減が積み重なってひどいことになっていくのです。
ある人が「介護保険料を引いた額になつてませんか?」と言ったので、「私は振り込まれた年金で生きてるんや天引きしてる方が悪い!」と言いました。

●602件の「声」の中に「普通でなに?」がいくつもありました。外食も美容院もコンサートも服も本も我慢してスーパーでは割引シール商品ばかり買う、通院も不便、家の修理なぞ考えられない、そういう状態は普通でしようか。周りのみんなが同じだとしてもそれは「普通」ではなくて「みんな苦しい」のです。「経験したことのない息苦しさを感じます」、みんなの実感です。

●「負担感の大きいもの」1位は国保料や介護保険料、2位食費、3位税金、4位水光熱費。苦しい時に助けてほしいから真面目に税金や保険料を払ってきたのに、その国や自治体に酷い目に合わされていくこともつきり見えています。

●「組合のサークルがくらしのゆとり」に「電話がうれしい」「何をしているか」と知らせてくれるうれしい声も。だから、「くらしを守ろう。政治を変えよう。年金者組合で楽しく一緒に力合わせて」と、みんなを呼びかけていきます。

仲間増やし《春の仲間増やし月間》に向けて

《年金も賃金もあげろ、若者も高齢者も生き生きと輝く人生を送りたい》

京都府委員長 山本 和夫

あなたは今の暮らしに不満はありませんか。モノの値段がどんどん上がって困りますね。こんな時に年金が下がっているなんて...岸田首相は所得倍増というけれど、実際は軍事費倍増のみ。国民のための政治というけれど一向に良くならな

い。自民・公明の政権を変えないとダメなんですよ。でもすぐには変わらな。い。どうしたらよいのでしょうか。

フランスでは350万人が年金ストに立ち上がっています。年金が62歳支給から64歳になるというだけです。日本では、65歳が当たり前なのに。《黙っていても命も暮らしもやられつぱなし》みんなで声を出していきましょう。

一人より二人、三人...もつともつとたくさん仲間を増やしましょう!

まず、春の月間で皆さんの周りの人に「あなたも年金組合に入ってください」の声を掛けましょう。声を掛けてくださ

府立植物園を守れ 「北山エリア」 開発問題

左京支部 山川美保さん

二年前に突然出てきた「北山エリアの開発計画」は驚くべきものでした。一つは貴重な絶滅危惧種も育てている世界的にも有名な植物園を壊すといつてもよいような内容でした。

これに反対する署名活動が始まり、同時に歴代の植物園園長や専門家の方々からの反対意見表明が続きました。反対署名は延べ15万4千筆余りが提出されました。

その結果、当初の計画がかなり見直されるものとなりました。

もう一つは隣接する府立大学の老朽化した体育館の改築に乗じて一万人収容規模のアリーナ計画です。これは学生の学びの場を奪うことになり、この地域の環境も大きく変えることになるため白紙撤回させることが重要です。



敬老乗車証制度を守ろう！宣伝行動

新時代の北上支部の目標
北上地域は京都の伝統産業である西陣織で有名な地域です。北上支部はかつて府本部を牽引するほどの活力がありました。現在は仲間が減少し続けるという深刻な状況にあります。勿論、この状況を何とかしたいという機運も芽生えています。

支部紹介⑫ 北上支部

星空研究 句会カフェ
資本論講座 歴史散歩 など
ユニークなサークル活動
文化作品展も開催

新時代の北上支部の目標

ユニークなサークルが
サークル活動は以前より活発に行われています。「のんびりスケッチ会」・「読書会」・「スマイルカフェ句会」・「里山歩き」・「上京区・北区の歴史散歩」・「星空を見る会」・「お茶を楽しむ会」・「コーヒールームVOICE」等です。サークルが楽しいと思う組合員が多いのは他の支部と同じです。

コロナ禍回避のため2年間「書面開催」となっていた定期大会を今年は長浜バイオ大学の大講義室にて、対面方式で実施する準備をすすめています。全組合員向けのアンケート活動もすすめ、「北区・上京区に提出する『要望書』」作りをしっかりと行います。また、サークル活動の成果を交流し合えるように「パネル展示」や「意見交換の時間」も持ち、組合員一人一人が意見表明できるように設定の工夫をこらしたいと考えています。

支部分割も検討中

北上支部は、二つの行政区で一つの支部を作っている市内支部では唯一の支部です。支部分割は10年来の支部の課題ですがいまだに実現できていません。

両地域での要求実現、一人ぼっちの高齢者を見逃すことなく、現実的な支部分割を検討していきます。

楽しみ、趣味などで生き生きと暮らせる、年金者組合でありたいと思っています。

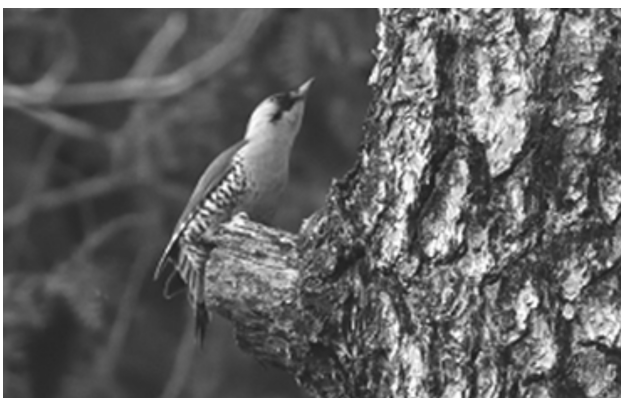
(岸本正美支部長)

昨年6月には2日間におこなった「作品展」を開催し100名近い方々が訪れられ盛況でした。これからはサークルで仲間増やしを頑張っていきたいと考えています。

ワンショット

樹上でドラミングして採餌/冬に里山から都市公園に
アオゲラ

キツキ科 アオゲラ属



公園内をゆっくり歩いていると斜め後ろから何かが飛んできて木に止まった鳥がいた。よく見るとアオゲラの雌。しめたと思いゆっくり回り込みシャッターを切る音に驚いたのかすぐ近くの松の木にとまった。洞のような窪みにとまりしばらく餌を探している。木の中の虫を探しているようだ。しかし、お目当ての餌が見つからずすぐに移動。一瞬の間だったが今季初めての撮影だった。

公園では、樹上でドラミングして餌をさがしているが、時には地上に降りて木の根元あたりで土を掘り、アリなどを食べている。

一昨年その場面に遭遇した。お山から冬になると都市公園にやってくるアオゲラ。普段は里山に住み、繁殖する日本固有の野鳥だ。「ピョーピュー」と口笛を高く吹いた時のような声や、飛び立つ時に笛を短く吹いたような「ケッケッ」という声を出す。

しかし、公園内では鳴き声を聞いたことがない。警戒しているのだろうか。(浜)

京都年金者文芸



俳句

癌完治誰に聞いたか梅五輪

佐藤 誠

あつちにも背伸びしている土筆かな 波部万智子

以上綴喜年金者しんぶん

鳴きべたの鶯来庭見てをりぬ

中村美紗子

春風に谷間のうぐいす宇治川の道

宇治川太郎

以上宇治・久御山ねんきん

茶を啜り梅の香りに温まる

忠正

大寒波水道管をまっ子巻き

ふじ紫

浄土への近道はなし春の庵

元範

以上年金の仲間北上

野の風を受けてやさしい猫柳

坂本二三恵

発心は貫くものよ水仙忌

荒田 義枝

琴の音の響き軽やか春障子

野尻 きみ

以上北桑田支部

花一輪枯葉の中から我を見る

渡辺 文恵

釣女子は他府県ナンバー春埠頭

康弘

ポケットに萎び土筆のへばりつく

富美

以上舞鶴年金者しんぶん

ほりおこしまだおやすみのかえるかな

〈ひらがな俳句〉

大槻美千代

野辺の隅輝きのありいぬふぐり

藤井 節子

節分は一夜の鬼の晴れ舞台

一井 義光

〈2月号で氏名を誤って記載しました。再掲します。〉

以上これからだ(福知山)

政権に取り残されし高齢者

河端ひろ子

京野菜たっぷり盛りて春の燭

多田 幸子

以上ねんきん城陽

戦争か平和か選ぶ我らの春

藤本 貞女

駅ピアノ身体でリズム雪の午後

山田 フサ

以上ひがしやま(東山)

今日は齒科明日は眼科春夕焼

広田浩三(下京)



短歌

幹枯れて昔しらじらと老白梅

ほそゑに小さき花咲かせたり

八木 幸雄

ふきのたふ人なき庭に春告ぐる

一人またひとり春を見ぬまに

北村 豊子

死なしむるこの一言を届けんと思へど我が声

雪にきえゆく

〈ウクライナ〉 谷 喜久子

以上船井丹雲の会

銀世界サクサクキュキュと踏みしめて

また登りたい若き日の思い出

渋谷美恵子

新雪に二人息子(ふたりご)の名を標し

なほ太く平和と刻める朝

奥田 君子

都よりウトロ見学に女高校生

笑顔で語る友をほこれり

脇坂 由美

以上宇治・久御山ねんきん

蠟梅のランタンの灯に誘われ

今宵は雪のお祭りに行く

野垣 幸子

手の甲の盛り上がりたる静脈が

無気味に招く樹海の奥処に

山口 至江

以上舞鶴年金者しんぶん

花菱草やクリスマスローズが咲き揃い

折からの春風にゆれている

所川和美(綴喜)

二十日ぶり朝のさんぽの桂川

桜のつぼみまだまだ固い

田中康春(西京)

教え子らは四十年を遡り声高に

幼な日のこと語りをり

山本三枝子(西京)

雛描く友の絵手紙壁に貼り

甘酒を飲む老いの雛祭り

堀千恵子(城陽)



川柳

公文書私に言わせりや怪文書

トマホーク専守防衛覆す

出雲 源人

以上綴喜年金者しんぶん

トマホーク古い兵器を言値買

千龍子(舞鶴)

孫卒業未来の夢路華咲かせ

一美(西京)

趣味の紹介

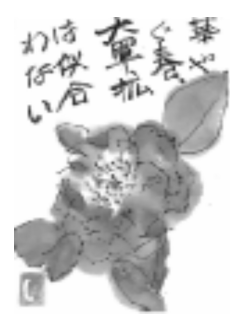
西京支部 小島志津子さん



右京支部 森定千代子さん



右京支部 木本 浩さん



西京支部原口薫さん



西京支部市川弘子さん

彫刻が趣味 仏像を思うまま 楽しみに

楽しみでやってる
自分の思うように彫る

「彫刻が趣味」の方とお聞きしましたが、彫っておられるのが仏像と知ってびっくり。仏像は拝んだり鑑賞するものとはばかり思っていました。

彫るに当たって決まり事や制約も多いのではどうか



仏像を彫る中村さん

がうと「定石はあるけど、自分の思うように作っている部分もありますよ」というお答え。カラフルだけれど睨みを利かす表情の「金剛力士像 仁王 阿形」を手に取って「仁王さんの右手に持っているものは私の創作」「先生には、なんやこれと言われたけど、楽しみでやってるんやから」と意に介しません。

子どもの頃からもの作り
京建労で支部長も

子どものころから手先が器用なうえ、見た人が面白いと思ってくれるようなものを意識して作っていたそうです。夏休み明けに開かれる京都市全体の作品展では、入選することが多かったとのこと。そして就職されたのが鋳物の木型を作る町工場で、中村さんにピッタリの仕事です。親方について仕事を学びながら、その後は博物館のジオラマを作る仕事、さらにプラスチック製品の製造と「もの作り」を続けてこられました。仕

輝いて元気に

(なかむら かつみ)

中村克己さん(南支部72歳)



作品の仏像

事だけでなく、若いときから京建労の役も「下っ端から支部長まで」務めてこられました。

仏像を彫るようになったのは30年程前に「家にきれいな仏像があったらいいな」と、急にひらめいたからです。そして教えてもらえ



るところを探したら、お住まいの南区内に時間、場所、月謝のどれも手ごろな教室が見つかり通うようになったとのこと。

仏像を彫るのは細かい作業で難しそう、とつつきにくいように見えるけれども、退職後の楽しみで来ている人も多く、中には現役で仕事をしている人もおられたそうです。

親方が亡くなった後は工場を引き継ぎましたが、設備投資は難しいと現在の機械でできる作業だけ引き受けています。でも「ここには材料の木材も、必要な彫刻刀も、作業できるスペースもある」と現状を楽しんでおられます。今は阿形の

対・卍形を制作されているのですが、出来を左右する目の入れ方には、独自に考えた技があります。「彩色をどうしようかな」「仕上がって写真に撮るのが楽しみ」とうれしそう。仏像に話しかけると、笑い返してくれているように感じるのだそうです。

海外旅行へ
英会話を学習

60歳を過ぎてからは海外旅行にも出かけるようになりました。そして「言葉が分からなかったら楽しさ半分」と英会話の教室にも通い始めます。今はなかなか海外旅行はできないけど、英語を習うことより教室の方たちと孫のことなど語り合えるのが楽しいと話されます。

お話をうかがっていて、本当にお世話好きでサービスピ精神にあふれた方だと思いました。

(取材 矢吹美根子)

西田美津子